

令和5年度第2回志太榛原圏域計画意見事前聴取の意見と対応

1 圏域の概況

委員名	意見	意見に対する対応
植田委員 (牧之原市長寿介護課)	・高齢化率だけでなく、生産年齢人口についても記載した方が良いのではないか。	・概況部分は他の圏域と同様項目を記載しており、圏域間のバランスを考えていますので、文言はそのままを予定します。

2 現状と課題

(1) 自立支援、介護予防・重度化防止

委員名	意見	意見に対する対応
上野委員 (焼津市歯科医師会)	・「オーラルフレイル」についてまだまだ理解が広まっていないように思います。 オーラルフレイルが始まると負のスパイラルに陥り、全身の健康やQOLの低下が始まることを広く知ってもらいたいと思います。	・「オーラルフレイル」について追記します。 ●オーラルフレイルが始まると負のスパイラルに陥り、全身の健康やQOLの低下が始まるものが広く知られていません。
植田委員 (牧之原市長寿介護課)	・1 圏域の概況 2・3つ目の○の箇所のように圏域情報、県情報の順に記載すると読みやすい。 ・市町について「全ての市町」「圏域内の市町」と記載されているので、統一する等対応をお願いしたい。	・圏域情報、県情報の順に記載します。 ・「圏域内の市町」に統一します。

(2) 在宅医療・介護連携

委員名	意見	意見に対する対応
<p>上野委員 (焼津市 歯科医師 会)</p>	<p>・在宅歯科診療は、事業所、家族との密な連携が必要です。 今後、要請のある患者さんは、今までのように歯、義歯だけでなくインプラント、インプラント義歯、マグネット義歯など多様な口腔環境の方が増えてくるはずで、新しい知識の交換など、多職種の情報共有や理解が益々必要になってくると思われます。</p>	<p>・「新しい知識」の共有を追記します。 ●多職種による連携した支援は、在宅療養を進める上で重要ですが、未だに多職種の種類・役割などが住民に十分知られていません。また、多職種の役割や<u>新しい知識</u>等を関係者で共有する必要があります。</p>
<p>高木委員 (榛原医 師会)</p>	<p>●在宅医療の需要が高まる中、医療機関（特に1人の医師が開業している診療所）が必ずしも対応しきれない医師不在時、患者の病状の急変時等における診療支援が出来る体制が望まれます。</p>	<p>・訂正します。 ●在宅医療の需要が高まる中、<u>医師不在時</u>など医療機関（特に1人の医師が開業している診療所）が対応しきれない時に、患者の病状の急変時等における診療支援が出来る体制構築が望まれます。</p>
<p>露木委員 (島田市 医師会)</p>	<p>(上記文言に対して) ・文言はこれで良いと思いますが、実際の診療においては”診療時間で対処する”のか”基幹病院との連携で対処する”のか大きな違いがあり、議論のあるところです。 診療所の医師が不在などで対応できない場合に救急車を呼んでもらって基幹病院に搬送するという事は未だ多くみられることだと思います。しかし、基幹病院側としては「ウチは入院が必要だったり重症を診るところだから、軽症は翌日でもいいから開業医で診てもらって」というのが本音だと思います。そのため本来であれば診療所間でまずは対応し、症状で対応困難であれば基幹病院へ、というのが望ましいと思われます。医師会によっては「当番制」で夜間等対</p>	<p>・文言はそのままとします。医療機関（診療所、基幹病院）の連携については、委員の皆様から色々な御意見を伺いたいと思います。今後、医療や介護の社会資源の実状を踏まえ、「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」や「在宅医療において必要な連携を担う拠点」の整備を推進していく中において議論されていくと思われます。</p>

<p>天野委員 (焼津市 薬剤師 会)</p>	<p>応しているところもありますが、訪問診療の患者数に差が大きかったり、今まで対応していなかったことを対応しようとするのも難しい問題があります。</p> <p>県や各医療圏から各医師会に「当番制を組む」ように指示しても、上記のような理由から困難かと思われます。そのため、機能強化型診療所などに協力を求めやすいようにしたり、医療機関(診療所)どうしで連携しやすいような方向を検討していただければと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の人々が薬局や医療機関に連れてきてくれることが増えている現状がある。 (在宅療養時に) 先ず、どうすれば良いか? どこに連絡すべきなのか? 分からない患者が多い。ポスターやパンフレットが有効利用されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養について、知識の更なる啓発を追記します。 ●在宅療養について、家族の理解、協力を得ることが難しいケースがあることから、<u>住民に対する在宅療養に関する知識の更なる啓発が必要です。</u>
-------------------------------------	--	--

(3) 認知症施策

委員名	意見	意見に対する対応
小谷委員 (認知症 家族会)	●認知症も若年性認知症と高齢者に限らないものも有る中、県民の認知症に対する理解が不十分なので、理解を深める取組が必要です。	・訂正します。 ●認知症も若年性認知症 <u>など</u> 高齢者に限らないものもある中、県民の認知症に対する理解が不十分なので、理解を深める取組が必要です。
天野委員 (焼津市 薬剤師会)	○認知症の人が増える中、家族が認知症に対してうまく対応できないケースもあり、認知症に関する知識の更なる啓発が必要です。 ↑ ・認知症の人にきつく当たっている家族が多い。 ・認知症でも普通に(1人で)運転してくる患者がいる。医療機関の駐車場で心配になることがある。	・現状となりますので、文言はそのままとします。

(4) 介護サービス

委員名	意見	意見に対する対応
植田委員 (牧之原 市長寿介 護課)	・在宅の介護サービス利用者の平均介護度が下がっていること、特養やショートの利用率など現況は記載しませんか。	・他の圏域と同様項目を記載しており、圏域間のバランスを考えていますので、文言はそのままを予定します。

(5) その他（介護人材の確保）

委員名	意見	意見に対する対応
天野委員 (焼津市 薬剤師会)	・外国の方が職につけていることは、素晴らしいと思う。	・文言はそのままとします。

3 課題への対応

(1) 自立支援、介護予防・重度化防止

委員名	意見	意見に対する対応
<p>小原委員 (県理学療法士会)</p>	<p>○圏域のリハビリテーション専門職の情報交換会を行って、事例の共有を図り連携を支援します。</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>市町や都道府県の高齢者の自立支援、重度化防止等に関する取組を推進するための保険者機能強化推進交付金を創設しています。2023年度の保険者機能強化推進交付金等に係る項目において、「Ⅱ 自立支援・重度化防止等、保険給付の適正化事業等に係る保険者支援の事業内容」の「自立支援・重度化防止等に向けたリハビリテーション専門職等の活用に係る支援」という項目があります。その評価指標が下記の2つあります。</p> <p>①自立支援、重度化防止等に向けた市町村の取組支援のため、リハビリテーション専門職等の確保や派遣等を関係団体と連携して取り組んでいるか。</p> <p>②要介護者等に対するリハビリテーション提供体制に関する分析を踏まえて取組を評価・改善しているか。</p> <p>上記、2つの評価指標があるため、これを達成するための情報交換会を行い、リハビリテーション専門職の活動の充実を図ることが出来ればよいと思います。</p> <p>上記内容が、今回追加予定の「地域リハビリテーションサポート医・推進員の養成及び役割の明確化と活動の充実を支援します」という文章において、具体的な行動目標にもなるかと思いました。</p>	<p>・文言はそのままとします。</p>

<p>露木委員 (島田市 医師 会)</p> <p>天野委員 (焼津市 薬剤師会)</p>	<p>●<u>地域リハビリテーションサポート医・推進員の養成及び役割の明確化と活動の充実を支援します。</u></p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>・地域リハビリテーションサポート医・推進員の役割というのは誰(どこ)が決めていくのですか? “支援します”というのはどこにかかりますか? それによっては文章がおかしくなるような気がします。</p> <p>・地域でリハビリテーション職と顔の見える環境づくりが必要です。必要ならリハビリテーション職のためのお薬出前講座も薬剤師会として検討できるかもしれません。</p>	<p>・地域リハビリテーションサポート医・推進員の役割は県で決定し、それぞれの養成研修を県医師会と県リハビリテーション専門職団体協議会に依頼していますので、「及び役割の明確化」を削除し、「支援します」を「図ります」に変更します。</p> <p>●<u>地域リハビリテーションサポート医・推進員の養成と活動の充実を図ります。</u></p> <p>・多職種連携の取組に含まれていますので、文言の変更はしません。</p>
---	--	--

(2) 在宅医療・介護連携

委員名	意見	意見に対する対応
<p>上野委員 (焼津市 歯科医師 会)</p>	<p>・在宅医療、介護予防重度化防止には、口腔ケアが有効であり、かかりつけ歯科医、歯科衛生士のもとで適切な口腔ケアを受けることをもっと推奨してほしい。</p> <p>只、残念ながら、この地域でも歯科衛生士さんは不足しています。</p> <p>他の職種と同様、歯科衛生士の派遣などに工夫が必要と感じます。</p> <p>・「口腔ケアの重要性」「歯科衛生士の活用」をもっと広く知っていただけたらと思います。</p>	<p>・追記します。</p> <p>●在宅医療、介護予防・重度化防止には口腔ケアが有効であり、かかりつけ歯科医、歯科衛生士のもとで適切な口腔ケアを受けることが推奨されます。</p>

(3) 認知症施策

委員名	意見	意見に対する対応
天野委員 (焼津市 薬剤師会)	・地域包括支援センターの働きがどうい うものか周知が必要です。家族にはなかな か伝わっていないです。	・各市町により地域包括支援センターを運 営し、住民周知啓発活動を行っています。 ・「住民や地域を巻き込んだ更なる取組」に必 要に応じた周知活動も含まれるため、文 言はそのままとします。

(5) その他(介護人材の確保)

委員名	意見	意見に対する対応
中山委員 (島田市 長寿介護 課)	<p>1 前計画(第9次静岡県長寿社会保健福 祉計画志太榛原圏域計画)における介護 人材の育成・確保及びICT化など介護 現場における生産性向上の推進につい て、実績、成果を御教示いただきたい。</p> <p>2 実績、成果等を踏まえて、前計画から 変更なしという理解でよろしいでしょ うか。</p> <p>3 「○全県的に実施している介護人材の 育成・確保に関する事業の周知等により、 圏域における介護人材の確保を支援しま す。」や「○県と市町が行う介護人材確保 施策の連携強化を図り、圏域における市 町の介護人材育成事業を支援します。」と は、市町に対し、具体的にどのような支 援を考えている次期計画であるのか御教 示いただきたい。</p>	<p>1 前計画の実績、成果について、静岡県 長寿社会保健福祉計画推進・策定部会の 資料を添付します。 　　<参考資料2～4></p> <p>2 変更なしの予定です。</p> <p>3 介護の仕事の魅力発信、多様な人材の 就労支援、外国人介護職員の確保など介 護人材確保施策についての情報を共有 し、企画・広報等で支援することを想定 しています。市町が具体的に求めている 支援も貴重な意見になるのでお知らせく ださい。</p> <p>・なお、この「介護人材の確保」は他の圏 域計画にはなく、志太榛原圏域のみ独自 テーマとして前計画から設けられていま す。圏域として、継続的な最重要課題で あることから、各市町、各施設、介護福 祉に係るあらゆる人々が検討、連携して いけるようにと意図したものとされてい ます。</p>

< 参考資料 1 >

